

ジェイアール・イーストユニオン 新潟地本 第 4 回定期大会

安全で安心して働ける企業風土をめざし、労働組合の

あるべき姿を考え、変革に挑戦・達成しよう！

1. 安全最優先の風土を構築し、社員とグループ・協力会社の「すべての労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を達成しよう！
2. 健全な労使関係を築き人材育成・技術継承問題を克服し、社会から信頼される JR 東日本を創り上げよう！
3. 今こそ変動の渦を巻き起こし、大きな組織拡大を成し遂げ、「あるべき労働組合像・労使関係像」を実現するため、民主化闘争を完遂しよう！
4. 「働く者を軸とした安心社会」を目指し、労働者の尊厳を守るとともに、労働条件の維持・向上を達成しよう！

新潟地本第 4 回定期大会は、7 月 23 日に新潟駅会議室で約 60 名の参加を得て開催されました。ご来賓の方々からは、先の参議院議員選挙で JR 連合の推薦した「かわいたかのり」さんが当選したことに、協力に対する御礼の言葉が述べられました。

神田新潟地本委員長は挨拶で、新潟支社の厳しい状況のなかで安全問題と技術継承を健全な労働組合の目線で取り組むとし、組織拡大については全員が火の玉になって取り組むよう訴えました。本部からは菅野委員長が参加し、挨拶ではサブスローガンに掲げたことを全員が職場で実行するよう要請しました。

質疑応答では、技術継承にかかわる問題や組織拡大に関することなどが出されました。集約答弁で渡辺事務局長は、主務職試験一次合格者が出ていること、東労組がまた 36 協定で揉めていることを挙げ、こういうことを話題に組織拡大に取り組んでほしい、と述べました。

議案は方針書通りに承認され、新たな執行体制も確立した新潟地方本部は、「大きな命題」に向かって活動を開始しました。

ジェイアール・イーストユニオン

新潟地方本部執行委員

役職名	氏名	担務	職場名
執行委員長	神田 広栄	総括	新津 駅
執行副委員長	斎藤 修	総務	五 泉 駅
事務局 長	池田 庄一	企画	新潟 運輸 区
執行委員	瀬藤 正樹	組織	村上保線技術 C
執行委員	金田 友裕	業務	新潟 運輸 区
執行委員	高木 義憲	政調	村上信通 M C
執行委員	鈴木 雅明	教宣	長岡 運輸 区
執行委員	高橋 基逸	組業企	新潟 運輸 区
執行委員	南雲 春彦	組織	越後湯沢信通 M C
執行委員	黒井 哲夫	組織	長岡保線技術 C
執行委員	渡辺 博幸	組織	新 潟 駅
執行委員	船山 勝広	業務	新潟電力 M C
執行委員	渡辺 敏昭	業務	新 潟 駅
特別執行委員	国井 道德		新潟新幹線運輸区
会計監査	廣川 教江		長岡保線技術 C

※ 今回より、支部委員長・部会役員による地本執行部への就任とせず、上記執行委員による固定の体制となります。宜しくお願ひします。

当選御礼

先の第 24 回参院選において、私たちの支援する川合孝典氏は、民進党比例 5 位(196,023 票)で当選いたしました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。



執行委員長あいさつ

ジェイアール・イーストユニオン
新潟地方本部
執行委員長 神田 広栄

先の第4回大会で新潟地本執行委員長に再任されました。就任にあたり思う所を述べさせていただきます。

私たちの住む北東アジアの情勢は、南シナ海や東シナ海に見るように中国の覇権的拡大が危惧されています。一方で、わが国と安全保障で同盟を組む米国では、大統領選挙でのトランプ氏に代表されるような、「米国ファースト」という「一国主義」が台頭してきました。皮肉にも、世界からその「一国主義」を揶揄されてきたわが国は、世界中で顕在化する「〇〇ファースト」に、防衛や経済の安全保障が左右される状況に置かれています。安全で安定した国の発展とともに成り立つJR、そこに働く者として無関心ではられません。先の第24回参議院選挙での「かわいたかのり」候補の当選は、私たちの取り組みの成果としても語れます。同じ志を持った政党や団体などを通じ、これらの情勢を打開する取り組みに、微力であっても努力していかなければならないと考えます。

さて、新潟支社の経営や労働の環境は、一層厳しくなることが容易に想像できます。少子高齢化や過疎化の進む地域では、交通インフラとして、鉄道以外の交通産業と共存共栄を図らねばなりません。そのために国や行政機関をも巻き込んだ取り組みを、今まで以上に新たな発想を持って進めることが必要です。私たちは責任的立場にあるJR連合の一員として、しっかりとした方針を掲げて具体的な運動を創造していきましょう。そのためにはJRの「安全問題と技術継承」を、健全な労働組合の目線と労使の垣根を超えた議論で変革していかなければなりません。現在の第一組合である東労組に任せていても何ら解決に至らないことは実証済みです。職場では平成採用者が中心的存在になろうとしている今日、私たちが問題の本質を見極め、躊躇することなく頑固親父の本領を発揮しなければなりません。一人ひとりが自分の職場で、日頃の世話焼き活動などを通じ少しずつでも指導していくことが大切であり、そこから効果的な信頼関係の構築ができると考えます。

いま私たちは大きな分岐点に差し掛かっています。先のJR連合定期大会において、JR東日本でJR連合の旗を握るのはイーストユニオンだけになりました。私たちの原点でもある「JR内に過激派、革マルはいらない」「JR連合に革マルを潜り込ませてはならない」を訴えた状況は間違っていないと思います。しかし、「組織拡大」という大きな命題を何としても克服しなければなりません。事は緊急を要しています。主義・主張が幾ら正しくても、担い手となる継承者の存在なくしては組織として成り立ちません。ここまで身を賭してともに歩んできた同志の皆さんに、最後の取り組みを要請します。全員が火の玉になって「組織拡大」を取り組んで下さい。差別・選別を含め、職場の様々な問題を地道な努力で克服してきた皆さんです。この難関を打ち破る本当の底力を発揮し、鉄道労働運動に新たな1ページを書き加えましょう。